

当法人が取り組む賃金以外の処遇改善について

○資質の向上

- ・資格を持たない介護職員が、初任者研修を働きながら受講できるよう、受講費用の助成や受講のための勤務上の便宜を図っています。
- ・より専門性の高い介護技術を取得できるよう、喀痰吸引研修、ユニットケアリーダー研修、サービス提供責任者研修等の受講を支援しています。
- ・概ね月1回の施設内研修で介護職員のスキルアップを図っています。

○労働環境の改善

- ・適正な雇用管理ができるよう、顧問の社会保険労務士事務所と連携し、労働関係各法の改正に対応しています。
- ・介護職員の腰痛対策や負担軽減のため、リフト浴の導入、離床アシストロボットの導入等を行ないました。
- ・福利厚生の一環で、常勤職員の子育て支援のため企業主導型保育所と契約をしています。
- ・スタッフ会議やリーダー会議、ユニット会議等の会議で、介護方針を検討するとともに職員の処遇改善に関する意見を収集しています。
- ・非常勤職員も含めた健康診断を実施しています。

○その他

- ・就業規則によりパート職員から常勤職員への転向が可能です。
- ・看護介護職員に対する入所者数を1:1.7の割合で手厚く配置しています。
(令和2年9月15日現在)

